118

世のまさなくてよろつのわさにあるハ
きることゝ多かれきれと囲碁蹴鞠なとはすく
しれる上手情物するを見てもあなめてたと
おもふ きかわかく人をしやとみつのしハ哉
しゆるこゝろにかきたゝ繪とそ堪さるも
をつきてよくする人のうつし山をも物をあましき
おもて讀書をみとも厳含絅度ことなかく
あるにかれしましこの特る志とよ宮子にあとらか

754.7
.H8

The Hokusai Manga
N. 10.

てまさ杉わしくいとある戯語にたとしも
してハ世のふくさとりやまし 北斎漫画
十編まてく様に志りて世に行 きる 杉乃道
これを見てうきるよひと自在にあ遊まわ
何ま道 世上乃君子よちいふ翔に弟ふひて堪
さるらむしかも我ゆゑし

文政二年十月 梅樹堂老人

北斎漫画二編

信州陬防湖氷渡

柿本の
貴僧正
加茂川の
水代
逆小流

吹馬
烟面
呑刀
掌中浪

袖中仙
隠形
壺中仙
蜂吹

浦島
牛舌
自然火
先雷

長頭
埋形
丈六
魔伽玉
天狗松明

蝦蟇
仙家ノ花
群鷺

無相ノ滝
張果
千尋ノ糸
鐵拳

楠の椀借
上總
手斧毋衣
越後入方七奇火

狐火

越中立山

狐嫁入

武蔵坊弁慶

花和尚
魯知深

日蓮上人
佐渡嶌
流刑

豊干

禅師

役(えん)の小角(せうかく)
前鬼(ぜんき)
後鬼(ごき)

目蓮(もくれん)為母(ちゝはゝのため)
冥途(めいど)へ通(かよふ)
小野篁(をのゝたかむら)
冥途(めいど)へ通(かよふ)

のういん
能因
をののこまち
小野小町
きかく
其角

にゆうんりうこうそんしよう
入雲龍 公孫勝
こくせんぷうりき
黒旋風 李逵

俊寛僧都
しゆんくわんそうづ

小野道風
をのゝとうふう

千利久
せんのりきう
太田道灌
おゝた どうくわん
竜本坊
たきもとぼう
松永貞徳
まつなが ていとく
嵐雪
らんせつ

泰時の母公
やすとき ぼこう

加賀の千代女
かゞ ちよぢよ

清玄法師堕落

蟬丸

河内國
姥が火
遠州秋葉山
天狗れ川狩

宗鑑
紫野
一休禪師

累が怨魂
祐天和尚

菊女が霊
三ヶ月上人

雪舟唐土に冨士を画

雪舟幼より画に妙有

時頼入道 佐野小趣

八艘飛（はつそうとび）

夢の浮橋（ゆめのうきはし）
力持（ちからもち）
手妻師（てつまし）
猿引（さるひき）

大江山（おほえやま）
酒呑童子（しゆてんどうじ）

雪中往来

東方朔
葛由
慈童
涓子

子英
孫登
笛龍

明崇儼
老子
彭祖
重陽子
謝仲初
盧敖

羅子房
鄭思遠
王倪
馮長

夏黄公
角里先生
阮籍
王戎
向秀

綺里季
東園公
嵆康
山濤
阮咸
劉伶

香具師

鈎柿
烟草曲呑
曲喰
無藝大食

伊勢の神職守武
弐朱判吉兵衛
狂月坊
佐渡国同三狸

飛彈 木匠
木霍
曽呂利
五斗兵衛
志道軒

家久連里

前北斎戴斗先生畫譜　尾張名古屋本町七丁目　永樂屋東四郎

北斎漫畫初二三編　全一冊宛　先生の物に感じ興に寄て筆を下す但しそて さまざまの妙用を写さし筆を続て全部を充んと遂べし

同　四編　全一冊　草筆を加へ席上の草画にもちゆることを要とす

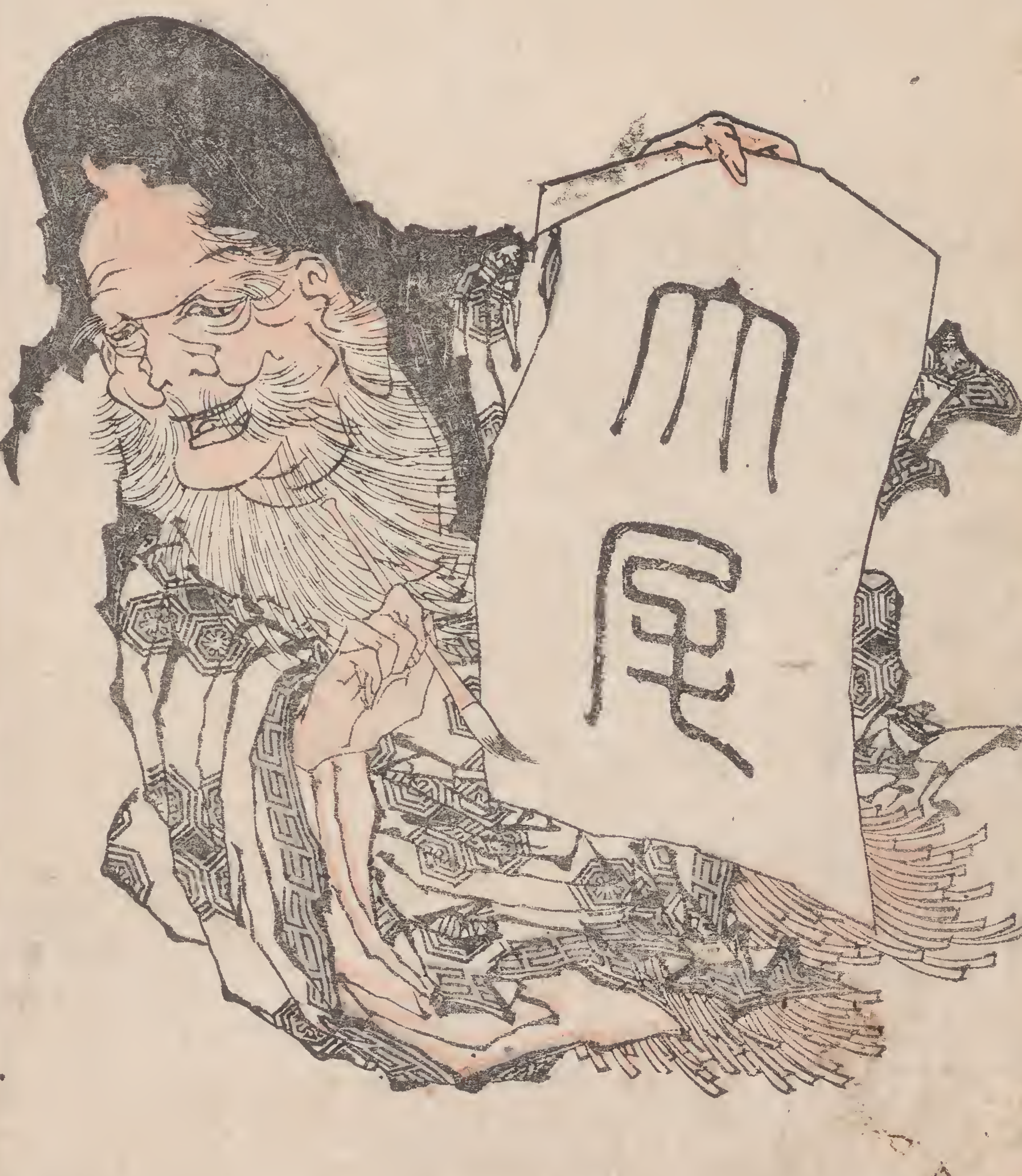
同　五編　全一冊　花表堂塔伽藍月卿雲客館斎房舎を委く うつして なをはきざるハ編にもすことし

同　六編　全一冊　剣法鎗法弓馬炮術等稽古のさまをうつして はまひろく武徒のするきを表せる一書と云べし

同　七編　全一冊　國々名勝の地風雨霜雪のけいきをうつす

同　八編　全一冊　前編に洩たる例のおもしろくをかしき図 且紡績養蚕乃業を委しく

同　九編　全一冊　和漢古今の名だゝる武者勇士および貞婦烈女のしるしをのせ



同　十編　全一冊
神佛のくはしき像を画き諸職風流の人物をしるせ

同　商人鑑　全一冊
市中商家に附のいとなみを畧して太平の基源をあらはせし数編をかさねて一冊も残さず

一筆畫譜　全一冊
先生工夫の一筆にて人物山川艸木禽獣蟲魚にいたるまでことごとく畫中に畫きたり

蕙齋危畫　全一冊
画は和心を学ぶのみにあらず先生の工夫あらし運筆の草画なり

名家畫譜　全三冊
古往今来諸国名家の奇画妙図をおのおのえらみあつめたるなり

金氏畫譜　全一冊
明人諸名家の画賛ならびに蘭竹の図を多く出し書法の高論を悉く集めたるを重ねて彫刻せし

繪本孝經　全二冊
むかしより世にいかなる貴賤もさとしやすき為にひろく古人の孝道を記せし至徳要道をあらはしたる孝経の書なり

福善齋画譜　全三冊
滕嘉言先生生涯風流胸中の画譜宋元明の古画の勝写をおほく載せたり

京都書林　堀川通　伏見屋藤右衛門

大坂書林
心斎橋通　柏原屋與左衛門
同　同　清右衛門
同　河内屋木兵衛
同　敦賀屋九兵衛

東都書林
糀町四丁目　角丸屋甚助
日本橋砥石店　大坂屋茂吉
同　新右衛門丁　前川六左衛門

尾陽書林
名古屋本町通七丁目　永樂屋東四郎